

調査はどのような流れで行われるの？

農林業経営体調査

調査対象：農林業経営体

農山村地域調査 (農業集落調査)

調査対象：農業集落

調査票の
配布

調査員が、
農林業経営体に該当するか聞き取り、
調査票を配布します。

回答方法
を選択

オンラインによる回答か、
調査員に提出するかを
選択いただけます。

集計

回答いただいた調査票は、
厳重な情報管理体制のもと、
農林水産省で集計します。

結果の
公表

集計結果はホームページで公表します。



個人情報厳重に保護されますのでご安心ください

個人情報の
保護



調査により集められた調査票
の回答内容は、統計法によって
厳重に保護されています。

守秘
義務



調査に従事する者に守秘義務違
反があった場合は、統計法により
罰則が科されます。

地域農業の姿

農林水産省では地域農業に関する各種データを提供しています。是非、ご利用ください。

「地域の農業を見て・知って・活かすDB(データベース)」



農林業センサスの結果や行政データを使
って、全国に約15万カ所ある農業集落
ごとの農業の詳細な現状をグラフや地図
で見える化できます。

「わがマチ・わがムラ 一市町村の姿」

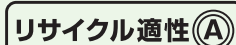
都道府県や市町村ごとの農林水産業の状況等について、
統計データの検索やランキングの表示ができます。



【農林水産省ホームページ】

ホーム > 統計情報 > わがマチ・わがムラ
<https://www.machimura.maff.go.jp/machi/>

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



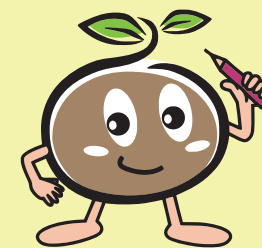
いま
農林業の現在を知る大規模調査

2025年 農林業センサス

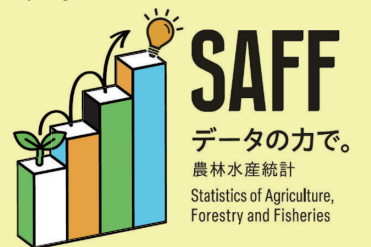
令和7年2月1日現在

あなたの回答が 農業・林業の未来につながる

全国の農業・林業を営むすべての方が対象です。



農林業センサスマスコットキャラクター「つっちー」



農林水産省

農林業センサス

検索

詳しくは、農林業センサス Web サイトをご覧ください。



【農林水産省ホームページ】

ホーム > 統計情報 > 地域の農業を見て・知って・活かすDB
～農林業センサスを中心とした総合データベース～
https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku_data/index.html

農林業センサスとは？

調査の目的



農林業センサスは、5年ごとに、我が国の農林業を営む方や農山村の実態を明らかにする調査です。農林業に関する最も基本的で、重要な統計を作成することを目的としています。

調査の対象



- 1 農林業経営体調査**
全国の農業・林業を営むすべての方を対象とします。
- 2 農山村地域調査（農業集落調査）**
全国の農業集落を対象とします。

なぜ、回答する必要があるの？

あなたの回答が農業・林業の未来につながります。

調査に正確にご回答いただけないと農林業の現状を正しく把握できず、農林業センサスの結果を利用して立案・実施される様々な政策の方向を誤ったり、行政の公平性が失われたりするおそれがあります。正確な統計に基づいて、公正で的確な行政を行うことにより、農業・林業の未来を支えることにつながります。法律で回答の義務が定められていますので、すべての皆様に必ず回答をお願いします。

調査結果の活用事例

- 食料・農業・農村基本計画
- 森林・林業基本計画
- 地方交付税の算定の基礎資料
- 各種統計調査の母集団名簿

農林業経営体調査

調査時期
2024年12月上旬
～2025年2月末に実施

調査内容
経営している農業の種類、
農業・林業の労働力、
経営耕地、保有山林、
農産物・林産物の販売 など

調査方法
統計調査員により調査票の配布と回収を行います。
統計調査員の回収に替えて、オンライン（スマートフォンやタブレット）による回答も可能です。

農山村地域調査（農業集落調査）

調査時期
2025年10月上旬
～2025年12月末に実施
農林業経営体調査と実施時期が異なります。

寄り合いの開催状況、
農地、水路、森林等の保全活動、
実行組合の有無 など

農業集落の代表者の方などに、
農林水産省が委託する民間事業者が
調査を実施します。

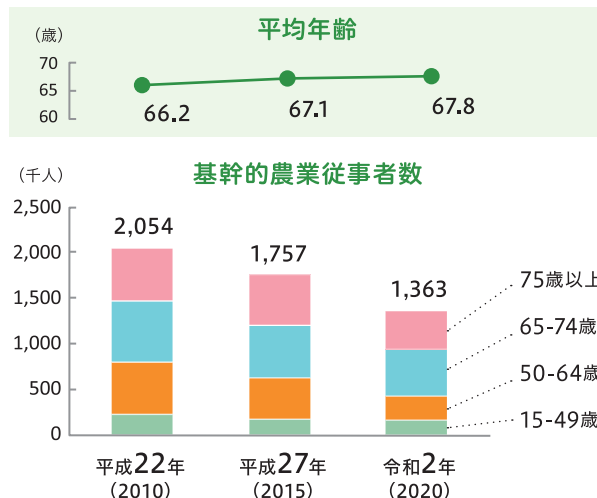
どんなことがわかるの？



農林業センサス調査結果（全国）

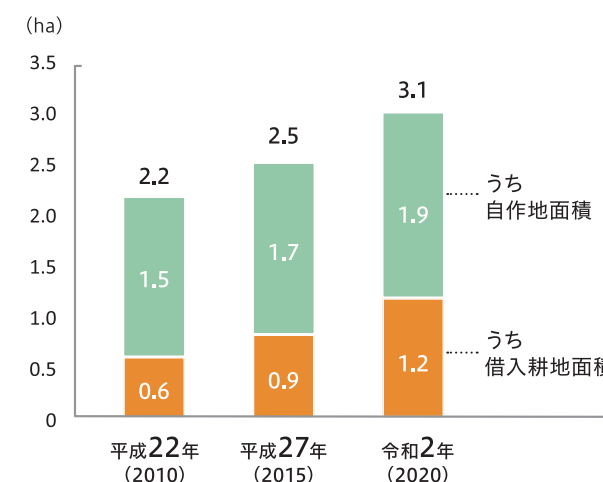
基幹的農業従事者数と平均年齢

2020年の基幹的農業従事者数は、10年前に比べて33.6%減少しており、平均年齢は67.8歳となっています。



1経営体当たりの経営耕地面積

2020年の経営耕地のある農業経営体の1経営体当たりの経営耕地面積は、10年前に比べて39.7%増加しています。



基幹的農業従事者とは、ふだん仕事として自営農業に従事している人のことです。

経営耕地面積とは、自分で所有して耕作している耕地(自作地)と他から借りて耕作している耕地(借入耕地)を合計した面積です。



明るい農林業・農山村を次世代へつないでいくためには、農林業センサスへのみなさま一人ひとりのご協力が必要です。

調査へのご協力をよろしくお願ひします。